

## 拓殖大学北海道短期大学創立 50 周年記念式典 学長挨拶

本日ここに拓殖大学北海道短期大学創立 50 周年を迎えるに当たりまして、辻泰弘北海道副知事、山下貴史深川市長をはじめ来賓多数のご来臨を賜り、式典を挙げますことは、まことに本学の光栄とするところであります。感謝にたえず、あつく御礼申し上げます。

本学は昭和 41 年に創立されましたが、田辺勝正初代学長は、開学式において「明治 33 年に桂太郎公爵の発意によって創立された拓殖大学の建学目的である“開拓者精神に基づく有為なる人材の養成”の精神が脈々として引き継がれ、この度拓殖大学が北海道に根を下ろし、北の大地に本大学を開設するに至った」と述べております。まさに本学の建学の精神は、「拓殖大学の伝統である開拓者精神を継承し、実践的な知識や技術と豊かな人間性を兼ね備えた、広く社会の発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする」ことであり、創立以来変わらぬ信念のもとで 50 年の歴史を刻んでまいりました。

本学は創立に当たって、北海道農業の開発に貢献し得る人材の育成とともに、一般教養科目を充実させて拓殖大学に直結する教養コースを併置し、本校拓殖大学との有機的連携を保つことといたしました。その後地元の強い要望もあって、昭和 44 年には、保育専門学校が本学に付設されました。この専門学校は昭和 55 年に本学の保育科に昇格しましたが、実質的に本学は創立間もなくの時期に農業、経済、保育という 3 本柱の教育体系を確立し、今日に至っています。この間、進学の高意を持ちながらも農繁期には農業に従事している者を対象に 3 年制の農閑期における季節コースを 25 年間にわたって開設したことも、本学の特色の一つです。

本学 50 年の歴史の中で特筆すべき事項は、納内地区から他地区への移転問題であります。深川市以外の地区からの誘致もありましたが、当時の椋木瑛磨太理事長や芳賀昭雄深川商工会議所会頭をはじめとする方々の筆舌に尽くせぬご努力によって、深川市当局に現在の利便性が高く地味の豊かなメムの地が提供され、平成 4 年に移転することができました。移転を機に椋木先生が深川市の名産米きららを主題に「きらら賛歌」を創られ、芳賀様のご寄贈によりその全文を刻した顕彰碑が本学本館横に立っています。

さて、本学は、人口希薄な地方における短期大学という、ともすれば存立に関わる不利な要素を逆手にとって、地方における短期大学だからこそできる教育に徹し、厳しい道のりを乗り越えてまいりました。農業、経済、保育の 3 本柱は、1 本ずつは弱くとも、それぞれが学内的に有機的連携を保持し、外部の状況に対しては各系統が適宜強みを発揮してきました。広大なキャンパスにある肥沃な実習農場で展開される農業教育、キャンパス内での伸び伸びとした学生生活、深川市唯一の高等教育機関として産官学の連携を保ちながら地域振興に資する生きた実践教育、実習等を通じた地域の保育所・幼稚園・福祉施設等との交流、などは、まさに地方にある大学の強み、実践教育を重んじる短期大学としての強みを発揮していると自負しています。また、学校法人拓殖大学の設置校として、本学は東京の拓殖大学と教学面において濃密な連携を保持しています。拓殖大学政経学部には、「環

境配慮型 CSR 対応教育プログラム」授業の一環として、本学農学ビジネス学科開講科目を遠隔授業を通じて配信しています。拓殖大学国際学部農業総合コースの3年生は、1年間または半年間にわたり本学農学ビジネス学科において実地に履修し、文系の農業人材育成という目的を果たしています。

このように本学が社会の発展に貢献できる人材育成のための実践教育に邁進することができましたのは、ひとえに地域の機関や人々の熱いご支援とご協力によるものであります。農業実習を受入れてくださる農家や農業法人、保育実習を受入れてくださる保育所・幼稚園や福祉施設、地域振興に関わるさまざまな行事に企画段階から学生を参加をさせてくださる行政・商工会議所・農業協同組合など、枚挙にいとまがありません。農場公開デー、農業セミナー、保育セミナーなどに参加された地域の方々との交流によって、学生は多くのことを学んでいます。毎年2月に公演している拓大ミュージカルには、市民の方々がチケットを購入して駆けつけ、声援を送ってくださいます。学生たちの背中を押してくださる皆さまの励ましが、感動体験となり、人生の糧となっています。

創立50周年に当たり、私たち教職員は単に過去を振り返るだけではなく、これまでの実績を踏まえ、そこから多くの教訓を引き出しながら、次なる半世紀に歩を進めてまいります。地域とともに歩む短期大学として時代の要請に応えながら、引き続き多くの有為な人材を世に送り出すことこそが、これまで本学をご支援くださったあらゆる皆様のご恩に報いる道であると確信しております。

ご参列の皆さまには、次の半世紀に向かって、これまでと同様に本学への暖かいご教示とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶のことばとさせていただきます。

平成28年11月5日

拓殖大学北海道短期大学  
学長 篠塚 徹